

平成 29 年度事業報告について

1 主な文化財事業

(1) 古戦場公園再整備事業

史跡長久手古戦場保存活用計画策定業務（平成 28 年度から 29 年度まで）

概要：前年度では、国指定史跡の内、古戦場公園の部分に関して保存活用計画を策定し、今年度は、御旗山、首塚、色金山の部分に関して策定した。

(2) 文化財補助等事業

前熊古典芸能保存会

前熊の山車保存会（前熊 天王祭り 平成 29 年 7 月 9 日開催）

上郷警固祭り保存会（上郷警固祭り 平成 29 年 10 月 8 日開催）

左義長報償金 2 地区（左義長 岩作壁ノ本平成 30 年 1 月 14 日、岩作長鶴 1 月 14 日開催）

(3) 古戦場桜まつり補助事業

主催及び補助対象団体：長久手古戦場桜まつり実行委員会

概要：市民による実行委員会が主催し平成 29 年 4 月 2 日に長久手古戦場桜まつりを開催した。各団体によるステージ発表、ブース出店、茶席、火縄銃の発砲、弓道大会を実施した。来場者は約 8,000 人。

(4) 文化財保存事業

古文書等燻蒸委託（平成 29 年 11 月 12 日～13 日）

概要：郷土資料室で保管している資料を燻蒸し、害虫を駆除した。

(5) 文化財啓発事業

ア 長久手市郷土資料室特別展（平成 30 年 1 月 5 日（金）～2 月 4 日（日）開催）

「小牧・長久手の戦い～戦国を駆け抜けた者たち ここ長久手で。～」

概要：市民に小牧・長久手の戦いに関する理解を深めてもらうのと同時に市が進めている古戦場公園再整備事業を PR するため、「小牧・長久手の戦い」をテーマとした特別展を開催した。来場者数は 1,278 人。（前年度実績 2,038 名）

イ 特別展関連講座（平成 30 年 1 月 20 日（土）開催）

「長久手の戦いを考えるー武将と地域に注目してー」

概要：小牧・長久手の戦いに関する書状を読み解き、参戦した武将らの思惑を明らかにしていく。また、戦いが長久手で起きたのは、街道に面していたということが大きく影響しているとの説明であった。受講者数は 157 人（定員 100 人）。

講師：愛知大学 文学部 人文社会学科 教授 山田邦明氏

ウ 市が洞小校区共生ステーション「ほとぎのさと展示室」

概要：平成 29 年 11 月から市が洞小校区における共生ステーションで丁子田 1 号窯、市ヶ洞 1 号窯から出土した刻銘須恵器（市指定文化財を含む）等を展示している。

(6) 学芸員嘱託員雇用

概要：特別展、展示計画等専門性の高い職務を行い、また埋蔵文化財の試掘・発掘等において専門の知識を有した者が対応できるよう、学芸員嘱託員を採用した。

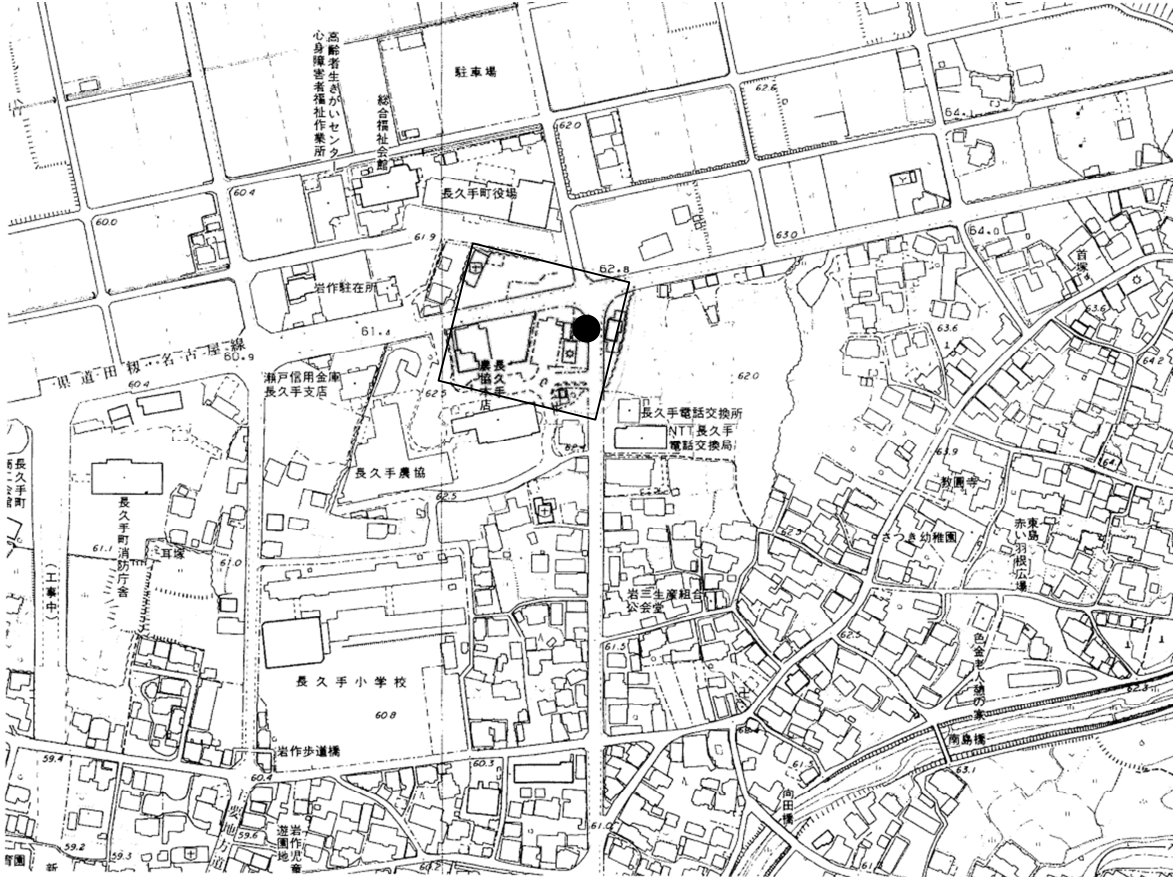
2 埋蔵文化財発掘の立会調査結果報告

岩作城跡

- (1) 届出者：個人及び長久手市
- (2) 埋蔵文化財包蔵地名：岩作城跡（中世）
- (3) 所在地：長久手市岩作城の内地内
- (4) 事業面積 ①下水管と最終枡の接続部 1.0404 m²
②下水道取付地 5.604 m²
- (5) 工事の概要等：住宅新築工事及び下水道取付管設置工事
- (6) 取扱い：愛知県教育委員会と調整し、工事の際に市教育委員会が立ち会うことが適切とした。
- (7) 立会い結果：最大掘削深度 180 cmの時点で遺物等の確認はできなかった。現場は過去に掘削されており、また今回の掘削範囲が狭いことから、遺構・遺物に影響ないと考えられる。

別紙

岩作城跡



現在、「岩作城の内」とあるように市役所の敷地周辺は岩作城の跡地です。昭和 60 年・平成 10 年の発掘調査で、城館に伴う堀・土塁・虎口などが発見されました。城の建築・廃城年代は正確には不明ですが、出土遺物から 14 世紀後ごろから 16 世紀後葉が城館期であると仮定されます。古瀬戸製品を多量に含む陶磁器が出土しました。

住宅新築工事及び下水道取付管設置工事

立ち会い写真 平成 29 年 10 月 17 日

